

# 未来へつなぐ地域の光

## 「紀伊山地の霊場と参詣道」 世界遺産登録20周年

観光振興課  
073-441-2424  
073-432-8313

観光交流課  
073-441-2785  
073-427-1523

文化遺産課  
073-441-3740  
073-441-3732

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、保全に携わる方、地元のごも達にもその魅力や価値を伝え次世代に継承する方、来訪者を温かく迎え「おもてなし」をする方など、資産に関わるたくさんの方々の長きにわたる支えにより、本年度で登録20周年を迎えるに至りました。

県では、20周年を契機とした各種施策により、本遺産の魅力を広く発信し多くの来訪者に感動や楽しさを提供するとともに、次世代へ確実に引き継いでいくための取組を進めています。

## 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」とは

紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な地域として考えられてきました。豊かな自然に根ざし育まれたさまざまな信仰を背景とし、「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という、起源や内容の異なる三つの霊場やこれらを結ぶ参詣道が形づくられ、日本の宗教・文化の発展と交流に大きな影響を及ぼしました。

この三つの霊場および参詣道と周囲を取り巻く「文化的景観」が、世界でも類をみない資産「紀伊山地の霊場と参詣道」として、2004年7月7日に世界遺産に登録されました。



追加登録に向けて  
2016年10月24日に新たに22地点の追加登録が行われ、世界遺産地域が拡大されました。県では、紀伊路など未登録の資産について、市町と連携し地域の理解を得ながら国指定の史跡を増やす取組や世界遺産の追加登録に向けた検討を進めています。



## 世界遺産を 守り、繋ぐ

紀伊山地は、年間を通じて雨量が多く、参詣道の傷みが多く見られます。総面積約500ha、参詣道の総延長約350kmの広大な資産を次世代に引き継いでいくためには、継続性のある保全活動を行うとともに、保全や活用の担い手となる次世代の人材を育成していくことが重要です。

## 10万人の参詣道 環境保全活動

県では、世界遺産の保全と活用を図るため、企業や団体、来訪者等に参詣道の維持・修復活動にボランティアとして協力いただく「道普請」を実施しています。世界遺産の保全に直接携わる貴重な体験が好評を得て、これまで延べ3万8千人以上の方が参加しています。



## 世界遺産の保全に携わる KDDI株式会社 関西総支社 管理部 富岡 俊和さん



「当社は、「つなぐ」ことを使命と考え「命をつなぐ」取組の一つとして、地域の特性に応じた環境保全活動を全国で実施しています。和歌山県では2016年から熊野古道の道普請に参加し、今回で9回目の実施となります。



道普請の魅力は、専門家でない私たちでも世界遺産の保全に直接関わることです。自分たちで土運び、踏みならして保全した道が世界遺産の一部になると誇らしくなります。さらに、作業中に古道を歩く方々から「ありがとう」と笑顔で声をかけられ、大変うれしい気持ちになります。こうした貴重な体験ができる道普請に今後も継続して参加していきたいと考えています。

## 国内外で高い評価を受ける「紀伊山地の霊場と参詣道」

- JAPAN TRAVEL AWARDS (国内観光地のコンテスト) 2023年  
「熊野古道(一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー)」が「サステナブル部門賞」を受賞
- ロンリープラネット(海外の旅行ガイドブック) 2021年  
「Best in Travel 2021」の「サステナビリティ部門(読者投票)」に「和歌山」が「世界で唯一選出」
- ロンリープラネット 2020年  
「ULTIMATE TRAVEL LIST」"世界の訪れるべき観光地トップ500"で「熊野古道」が第83位、「高野山」が第113位
- Gaijin Pot(在日外国人向け情報サイト) 2019年  
"2020年外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング"で「熊野地方」が「全国第1位」
- Airbnb(海外の宿泊・体験情報サイト) 2018年  
"2019年に訪れるべき19の観光地"で「和歌山県」が「日本で唯一選出」